

大田仁史 三好春樹 両氏がやってくる



ひびき通信

平成 23 年
5 月版

新しい介護セミナー Part 2

テーマは介護期のリハビリと 認知症のコミュニケーション

五月二十二日、新百合の川崎市アートセンターで開催

在宅サポートセンター
生田の新しい介護セミ
ナー Part2 が五月二十二
日、新百合ヶ丘にある
川崎市アートセンター
のアルテリオ小劇場で
開催されます。セミナーには、

生活とリハビリ研究所代表の三
好春樹氏と、日本のリハビリテ
ーション医療
の第一人者
である大田
仁史氏が登
場。それぞ

残った機能を活かす

介護の基本と介助のコツを学びました

金田センター長の すぐに役立つ介護講座



金田センター長による「すぐに
役立つ介護講座」がこのほど、開
催されました。講座には、現場で
働くヘルパーの方など十名が参加
しました。
講座では、「残った機能を活かす」
という介護の基本的な考え方や視
点を確認した後、生理学的動作に



さくら 満喫

グループホーム響の お花見です

春うららとなった四月の
ひととき。グループホー
ム響では、近くの須賀神
社にお花見にでかけました。
満開となった枝垂桜。普段は
「花より団子」のご利用者様た
ちですが、この日ばかりは、
流れ落ちる滝のような桜の花
に、みんなうっとり眺めて
いました。

金田センター長による「すぐに
役立つ介護講座」がこのほど、開
催されました。講座には、現場で
働くヘルパーの方など十名が参加
しました。
講座では、「残った機能を活かす」
という介護の基本的な考え方や視
点を確認した後、生理学的動作に
基づくケアが「安全」で「安心」
につながり、なおかつ残った機能
を引き出す「生活リハビリ」とな
ることを学びました。
また、認知症ケアのポイントと
して「問題行動」の背景にある職
員のかかわり方についても検証。
問題行動の誘因となる介護につい

て、センター長の実体験を交えた
話に、参加者たちは笑ったり、う
なづいたり熱心に耳を傾けてい
ました。
講座の最後には、電動ベッドの
高さ調整機能を使った上手な移乗
介助のコツを、実際にベッドを使
いながら伝授してもらいました。

在宅サポートセンター生田で
はこのほど、勤続五年の非常勤
職員に対して、感謝状を贈呈し
ました。今回対象となったのは

勤続5年の非常勤職員に
感謝状を贈呈しました

デイサービス介護職の弥武さん



デイサービス部門の弥武光世職
員。弥武さんは開設から在籍。
グループホーム勤務後、三年半
デイの職員として活躍中です。

れ三好氏が「認知症のコ
ミュニケーション」、大田
氏が「介護期のリハビリ」をテー
マに講演されます。
定員は百八十名。受講料は四
千円です。申し込み
は在宅サポートセ

ンター生田まで。
電話〇四四・九
五五・一七二一。詳しくは
ホームページをご覧ください。